

## 遠山荷塘と唐話學

(平成三年七月十七日研究例会報告)

井上 泰山

私が遠山荷塘の名を初めて心に留めたのは、中國古典戯曲『西廂記』を通してであった。『西廂記』といえば元代の巨匠・王實甫の手になる戀愛戯曲の代表作、本場中國では知らぬ者としてなく、その名場面は今なお地方劇に取り込まれ喝采を博しているが、日本人にとって、ことに江戸時代の日本人にとつては、あまり馴染みの深いものではないかと思われる。そうした状況の中で荷塘は『西廂記』にいち早く注目して講讀會を開き、原文に訓點を施したうえ、全幕に漢文を以って註釋を付した。極めて特異な存在である。通俗小説全盛の時代にあつて難解な戯曲にも手を染め、しかも原語を以って施註するというを敢て難事成し遂げた遠山荷塘とは一體いかなる經歷の持ち主なのか、との興味に導かれて調べ得た幾つかの事實を、主として唐話學關係の業績に絞って報告したので今回の發表である。

遠山荷塘(一七九五—一八三一)は陸奥の人。號を一溪・一圭、又荷塘道人とも稱し、若くして落飾。諸國遍歴の後九州に遊學、廣瀬淡窓・亀井昭陽の私塾で儒學を修める傍、長崎に赴いて中國人に唐話・音韻を學び、月琴の奏法をも會得した後、三十一歳にして江戸に上り、本所に居を定め『西廂記』『琵琶記』を講じた。

その事跡を傳える資料としてまず第一に繙くべきは、『廣瀬旭莊全集』日記篇三『日間瑣事備忘』第七卷『空石日記』、同第八卷『昭陽先生文集初編』である。次に、天保三年、荷塘死去の翌年に朝川善庵が撰した『荷塘道人圭公傳碑』(『我樂堂遺稿』三卷)。又、青木正兒『傳奇小説を講じ月琴を善したる遠山荷塘が傳の箋』所収。喜多村筠庭『武公年表』天保二年の條にも簡単なコメントが付されている。

右の基本資料に、石崎又造氏の「江戸に於ける唐話學及俗文學の一斑」(『近世日本に於ける支那俗語文學史』)、山口剛氏の「荷塘印影」(『山口剛著作集』卷六)、徳田武氏の「遠山荷塘と廣瀬淡窓・亀井昭陽」(『江戸漢學の世界』)など、近年の研究成果を加えることによつて浮かびあがる荷塘その人の實像は、「墮落」した「僧」(喜多村筠庭評)でも「衞耀の人」(山口剛評)でもなく、逆に「志趣高簡」にして「情地夷曠」(朝川善庵評)なる「温雅方峻」(亀井昭陽評)の人であり、「一個の偉人」(石崎又造評)であつたとする見方に軍配が上がるように思われる。

荷塘の著作として書名のみ傳わるものは、『韻鏡發蒙』(『空石日記』卷十八に記載)・『音韻問答』(『昭陽文集初編』卷十三)・『月琴考』(『荷塘道人圭公傳碑』)・『難字抄』(『空石日記』卷十八)・『記諺』(『金瓶梅』註釋)の五種。現存するものは、『譯解笑林廣記』『診解校註古本西廂記』『胡言漢語考』の三種のみ。

『西廂記』の施註に關しては既に傳田章氏の詳細な報告が備わっている(遠山荷塘の『診解校註古本西廂記』)。それによれば、『荷塘本の付註は、その九五パーセントまでが王伯良本の註と、凌初成本の註の抄寫』であり、「孫引きであつて、荷塘

獨自の討究から出たものではない」とのことであるが、假にそうであつたとしても、各種版本の註釋を比較吟味して取捨選擇した行爲の中に、通俗文學に對する類稀なる熱意と見識とを認めることは必ずしも不當な評價ではあるまい。

『胡言漢語考』については、それが『唐話辭書類集』第一集に収める『胡言漢語』と同一のものであると確定されるまでには様々な論議があつたが、近年、徳田武氏の「遠山荷塘と『金瓶梅』」(『日本近世小説と中國小説』第十八章)に至つて荷塘の著作としての論がほぼ定まつたように見受けられる。徳田氏は又、『金瓶梅』(鹿児島大學附屬圖書館玉里文庫所藏)の訓點付註本に抄記された註釋の一部に荷塘本人の意見を反映したものがあつたとして、これに關する調査報告(前掲)をも發表され、荷塘の唐話學を窺い知るための貴重な資料を新たに發掘された。

以上、今回の報告では荷塘の事跡や著作を知るための基礎資料の収集と精讀に終始し、自身で成し得た作業は『胡言漢語』中の引用書目を作る程度であつたが、そうした基礎作業を通じて明らかになつた荷塘の唐話學の特徴として、まず第一に擧げるべき點は、對象が主として中國の通俗文學、とりわけ、當時の人々があまり得意としなかつたであろう戯曲文學の解讀施註にまで及んでいること。第二に、まさに徳田氏の言われるように、「和漢の硬軟雅俗にわたる文献に用例を求めて、それに基づいて語釋する」という學問的な方法を持していること(前掲『金瓶梅』論考)である。そして、右の二點を可能ならしめた背景として、長崎遊學による中國語原音の修得、並びに、淡窓・昭陽塾在籍時の廣汎な讀書と研鑽とを缺くことはできないであろう。こうした點については、今後、

関連資料の精査を通して改めて検証し、それによつて、江戸期唐話學史上に於ける荷塘の位置づけを試みたいと思う。